

# ホテルニューアワジグループ協賛 第41回 舵杯ヨットレース

## 帆走指示書

<b>1. 規則</b>									
1.	本レガッタには「セーリング競技規則 (RRS)」 に定義された規則を適用する。								
2.	X-35 ワンデザインクラスに関しては「X-35 ワンデザインクラス日本国内規定」を適用し、許可されている範囲において X-35 クラスルールの制限が解除され、IRC Rule2016 を適用する。								
3.	レース公示と本帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。								
4.	IRCクラスについては、以下も適用する。								
1	IRC Rule2016 (但し、以下を変更する)								
2	証書記載のクルーメンバーによる乗員制限をしない (Rule 22. 4の変更) JSAF 外洋特別規定 (JSAF OSR) 2016-2017 附則 B インショアーレス用特別規定を適用する。								
<b>2. 競技者への通告</b> 競技者への通告は、レース本部 (サントピアヨットクラブ) に設置された公式掲示板に掲示される。									
<b>3. 帆走指示書の変更</b> 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の出艇申告受付開始前に掲示される。									
<b>4. 陸上で発する信号</b>									
1.	陸上で発する信号は、出艇申告受付開始から抗議締切時刻の間、レース本部前のポールに掲揚される。								
2.	AP旗が音響2声と共に掲揚されたときは (降下のときは音響1声)、「レースは延期された。予告信号はAP旗の降下後30分後に発せられる」ことを意味する。この項はレース信号、AP旗を変更している。								
3.	天候等の条件でレースを中止する場合、 <b>4月24日08:00までに公式掲示板に掲示する。</b>								
<b>5. 日程</b> 「IRC」「オープン」共、2レースを予定する。 <b>4月23日 (土)</b> 14:30~16:30 大会受付・乗員登録受付・出艇申告 17:00~ 艇長会議 18:00~ 開会式・前夜祭 (公式パーティー、サントピアマリーナ内) <b>4月24日 (日)</b> 07:30~08:00 大会受付・乗員登録受付・出艇申告<当日受付艇のみ> 09:15 予告信号 16:00を予定 表彰式									
<b>6. クラスの識別</b>									
1.	クラスの識別のため、艇は「バージ」をバック・ステイ (バック・ステイのない艇はブームエンド) に、「ゼッケン」をマストより前方の両舷ライフラインに取付けなければならない。 <table border="1" data-bbox="464 1783 847 1928"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>バージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IRC</td> <td>空色</td> </tr> <tr> <td>オープンA</td> <td>黄色</td> </tr> <tr> <td>オープンB</td> <td>緑色</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	バージ	IRC	空色	オープンA	黄色	オープンB	緑色
クラス	バージ								
IRC	空色								
オープンA	黄色								
オープンB	緑色								
2.	バージ及びゼッケンは受付時に主催団体より支給される。								
<b>7. クラス旗</b> クラス旗は下記のとおりとする。									

	クラス	クラス旗
	I R C	空色旗
	オープンA	黄色旗
	オープンB	緑色旗

8. レースエリア レースエリアは、サントピアヨットクラブ沖から大阪湾南部の水域とする。

### 9. コース

1.	全クラスとも兵庫県洲本市洲本沖をスタートし、北方乃至北東方に設置する第1ゲートを通過し、淡路市津名港沖に設置する第2マークを回航後、洲本沖でフィニッシュするコースとする。各マークは反時計まわりとする。  スタート・マーク・ブイの位置 34. 20. 5000 N, 134. 55. 2000 E
2.	<b>第1レース</b> 洲本沖をスタートし、北方乃至北東方に設置する第1ゲートマーク通過でフィニッシュするコースとする。距離は約5マイルとする。 艇は、ポートの端となるマーク1とスターボードの端となる「ピンク旗」を掲揚した運営艇との間を通過しなければならない。  第1ゲートマークの位置 34. 24. 6000 N, 134. 57. 8000 E
3.	<b>第2レース</b> 第1レースに引き続き行われ、第1マーク通過後、津名港沖に設置する第2マークを回航し、洲本沖でフィニッシュする「全航程」をコースとする。距離は約12マイルとする。  第2マークの位置 34. 23. 5000 N, 134. 55. 3000 E  フィニッシュ・マーク・ブイの位置 スタート・マークと同じ位置、
4.	各マーク等の位置は概位であり、位置の不正確さは艇による救済要求の根拠にはならない。この項は規則60. 1(b)を変更している。

### 10. マーク

1.	スタート・マークは、レース委員会信号艇と黄色の円筒形（膨張式）ブイとする。
2.	第1ゲートマークは、黄色の円筒形（膨張式）ブイとレース委員会艇とする。
3.	第2マークは、黄色の円筒形（膨張式）ブイとする。
4.	フィニッシュ・マークは、レース委員会信号艇と黄色の円筒形（膨張式）ブイとする。
5.	指示12に規定する新しいマークはオレンジ色の円筒形（膨張式）ブイとする。

### 11. スタート

1.	レースは、規則26に従ってスタートする。 <table border="1" data-bbox="466 1496 1225 1713"> <thead> <tr> <th>信号</th> <th>旗と音響</th> <th>スタート信号までの時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予告</td> <td>クラス旗を掲揚・音響1声</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>準備</td> <td>P旗を掲揚・音響1声</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>1分前</td> <td>準備旗を降下・長音1声</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>スタート</td> <td>クラス旗を降下・音響1声</td> <td>0分</td> </tr> </tbody> </table>	信号	旗と音響	スタート信号までの時間	予告	クラス旗を掲揚・音響1声	5分	準備	P旗を掲揚・音響1声	4分	1分前	準備旗を降下・長音1声	1分	スタート	クラス旗を降下・音響1声	0分
信号	旗と音響	スタート信号までの時間														
予告	クラス旗を掲揚・音響1声	5分														
準備	P旗を掲揚・音響1声	4分														
1分前	準備旗を降下・長音1声	1分														
スタート	クラス旗を降下・音響1声	0分														
2.	スタートは全クラス同時とする。															
3.	スタートラインは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇の「ピンク旗」を掲揚したポールと、ポートにあるスタート・マークのコースの側との間とする。															
4.	スタート信号の15分以降にスタートする艇は、スタートしなかった(DNS)と記録される。この項は規則A4を変更している。															
5.	スタート信号時に、艇が規則29.1(個別リコール)に従わなければならない場合、レース委員会艇は音響信号1声と共にX旗を掲揚し、VHFチャンネル72で、その艇のセー															

	ル番号、艇名又はゼッケン番号を送信するように努める。ただし、送信できなかつたり、送信の時期が適切でなかつたりしても、救済要求の根拠にはならない。この項は規則 62.1 (a) を変更している。
<b>12. コースの次のレグの変更</b> コースの次のレグの変更は、次のマークへのおおよそのコンパス方位及び距離を掲示する。この項は規則33 を変更している。	
<b>13. フィニッシュ</b>	
1.	第1レースのフィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるレース委員会艇の「ピンク旗」を掲揚したポールと、ポートの端の第1ゲートマークの間とする。
2.	第2レースのフィニッシュ・ラインは、レース委員会信号艇の「ピンク旗」を掲揚したポールとフィニッシュ・マークのコースの側との間とする。
<b>14. 一時的なエンジンの使用</b> 規則42.3 (h) を次のとおり変更し、適用する。	
1.	艇は、次の条件で、そのレースで著しく有利にならない場合には、エンジンまたは他の方法で推進することができる。 ①レース艇を除く障害物（灯標、灯浮標、定置網等）または船舶との衝突を緊急に回避しなければならない場合 ②強風若しくは無風、または強潮を含む極端な天候から避難しなければならない場合。
2.	艇がエンジンを使用した場合、使用開始時刻及び停止時刻（または稼働時間）、使用場所及び使用状況（運行方位、距離数等）を記録した申告書を、抗議締切時刻内にレース本部に提出しなければならない。
3.	申告に基づき、プロテスト委員会は適当と判断される値の「タイムペナルティー」を課すことがある。
<b>15. タイムリミット</b> タイムリミットは14:00とし、当該時刻までにフィニッシュしない艇は、フィニッシュしなかった（DNF）と記録される。この項は規則35及びA4を変更している。	
<b>16. ペナルティー</b>	
1.	RRS第2章に関わる規則違反については、規則44.2「2回転ペナルティー」を適用する。
2.	RRS第2章以外の規則違反については、プロテスト委員会は失格又は適当と判断される値の「タイムペナルティー」を適用することができる。
3.	リコールに関わる規則違反については、OCSに代わる罰則として、所要時間に5%を加算する「タイムペナルティー」を適用する。これらの項は規則64を変更している。
<b>17. 抗議と救済要求</b>	
1.	抗議書はレース本部で入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、抗議締切時刻内にレース本部に提出しなければならない。
2.	抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後から60分とする。公式掲示板に掲示される。
3.	抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせる為、抗議締切時刻後30分以内に掲示する。
4.	レース委員会又はプロテスト委員会による抗議の公示を、規則61.1 (b) に基づき伝えるために掲示する。
5.	帆走指示書6「クラスの識別」、19「安全規定」及び21「無線の使用」の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則60.1 (a) を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。
<b>18. 順位及び時間修正システム、得点、大会の成立</b>	
1. IRCクラス	
1	各艇の所要時間にTCCを乗じた修正時間（秒単位）により順位を決定する。 修正時間＝所要時間×TCC
2	同一修正時間の場合は、TCC値の小さい艇を上位とする。

<b>2. オープンクラス</b>	
1	各艇の所要時間にT. C. Fを乗じた修正時間（秒単位）により順位を決定する。 修正時間＝所要時間×T. C. F
2	同一修正時間の場合は、T. C. F値の小さい艇を上位とする。
<b>3. 共通</b>	
1	得点方式 成立した全てのレースをカウントする。この項は規則A2を変更している。得点係数は各レース1.0とする
2	シリーズ得点でタイがある場合は、第2レースの得点で順位を付ける。この項は規則A8を変更している。
3	大会は1レースの完了をもって成立とする。
<b>19. 安全規定</b>	
1.	出艇申告 艇長は、帆走指示書5「日程」の指示時間内に、レース本部に備え付けの申告書に自ら署名しなければならない。
2.	帰着申告 艇長は、レース終了後60分以内に「バージ」および「ゼッケン」を返却し、レース本部に備え付けの申告書に自ら署名しなければならない。 GPS端末を配布している場合は、これも返却すること。
3.	個人用浮揚用具 レースのために艇停泊地から出港する時点から、レース終了後艇停泊地に帰港するまでの間、競技者は個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用しなければならない。この項はRRS第4章前文を変更している。個人用浮揚用具は全ての着衣の上に装着すること。レース委員会又はプロテスト委員会がこれに違反している艇を目撃した場合、警告を発する場合がある。
<b>20. リタイア</b>	
リタイアした艇は、できるだけ早くレース本部に備え付けの申告書に自ら署名しなければならない。できない場合は口頭でレース委員会に伝えることができる。	
<b>21. 無線の使用</b>	
1.	携帯電話 レース予定海域で使用できる携帯電話を2台以上携行すること。
2.	GPS端末（スマホ） 出艇申告時にレース委員会が配布するGPS端末（スマホ）を艇に搭載することを求める場合がある。この場合は、艇は拒否できないものとする。
3.	レース艇は、緊急の場合の除き、レース中にVHF72チャンネルでの無線送信をしてはならない。
4.	この項に定める以外の通信形態、情報ソースは何ら制限しない。これらは規則41の「外部の援助」に該当しないものとする。
<b>22. 運営艇</b>	
1.	運営艇は、OFFICIAL旗を掲揚する。
2.	PROTEST旗、JURY旗、PRESS旗を掲揚している艇も運営艇である。
<b>23. 賞</b>	
1.	KAZI CUP：IRC、オープンA、オープンBの各1位、2位、3位
2.	持ち回りKAZI CUP：
3.	ラインオーナー賞：成立したレースのうち、より距離の長いレースでのファーストホーム
4.	その他（ワンデザインクラス賞）
<b>24. 責任の否認</b>	
このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。規則4「レースすることの決定」参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損傷または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。	
<b>25. レース本部・緊急連絡先</b>	
大会期間中の事務局及びレース本部は、サントピアマリーナ内に置く。 サントピアマリーナ 兵庫県洲本市小路谷字古茂江1276 TEL 0799-24-1694	

<参考1> 運営艇配置図



<参考 2> 緊急連絡網

